

1 プログラムの名称

久留米大学病院群外科専門研修プログラム

2 研修期間

3年間 ※サブスペシャリティ領域と並行可能

3 募集要項

募集人員： 22名

募集期間： 1次 > 久留米大学病院
2次 > 外科専門研修プログラムに準ずる。

応募資格： 医師免許を有している者
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： プログラム応募申請書(1部)
履歴書(2部)

※まずは担当者へお問合せください。

4 診療部長・指導医数

診療部長：八木 実

指導医数 130名(久留米大学病院群全体の指導医数)

5 主な連携施設

(福岡県) 聖マリア病院、九州医療センター、大牟田市立病院、朝倉医師会病院、筑後市立病院、飯塚市立病院、共愛会戸畑共立病院、済生会二日市病院、宗像水光会総合病院、ヨコクラ病院、柳病院、嶋田病院、柳川病院、済生会大牟田病院、公立八女総合病院、社会保険田川病院、久留米総合病院、くるめ病院、高木病院、福岡記念病院

(佐賀県) 佐賀中部病院

(長崎県) 佐世保共済病院、市立大村市民病院、

(大分県) 済生会日田病院、三愛メディカルセンター

(鹿児島県) 天陽会中央病院

(新潟県) 新潟県立中央病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院

(山形県) 鶴岡市内荘内病院

6 プログラムの特色

専門医研修は久留米大学病院群外科専門研修プログラムに沿って開始します。本プログラムでは久留米大学病院を基幹施設とし、福岡県内外の各地域の中核病院を連携施設として病院群の設定を行いました。全ての病院が豊富な指導医を擁し、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科領域を満遍なく履修することが可能です。

専門医研修期間内での必要症例経験数習得完了・積極的な学会への参加・必要修練期間終了時での外科専門医取得が余裕をもって達成可能となるように編成されています。

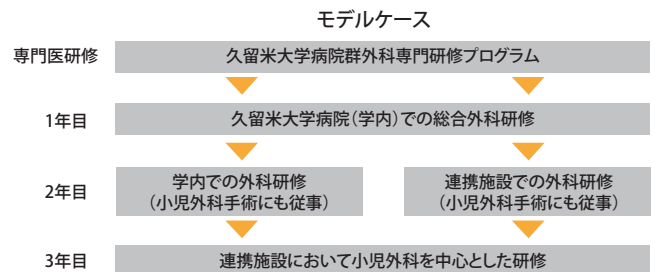
研修プログラムのモデルケース(下図)：

効率よく外科修練が行えることを主眼としながらも、研修医のニーズにも合わせて研修先(連携施設)の調整を行います。

つまり、将来的にsubspecialty領域である小児外科専門医取得を念頭に置いて、外科専門医取得から小児外科専門医取得へ無駄なロスが生じない様に専門医研修を指導していきます。

小児外科の対象患者さんは(胎児期)生直後から15歳までと幅広く、精神的にも肉体的にも成長発達過程にあるため、それぞれに適した治療法が必要になります。また原疾患の治療は手術創から術後の機能に至るまで、患者さんのQuality of Lifeの向上に最大限の努力を払わなければいけません。

久留米大学小児外科では、まず本プログラムを通して一般外科医としての基礎的知識・技術の修得、さらに小児外科疾患の手術、管理を修得することは勿論のこと、代謝栄養学、消化管機能、東洋(漢方)医学と幅広く、トータルケアのできる人材の育成に力を注いでいます。また患児の親との関わり、医療スタッフとの人間関係等、医師としての人間的心構えを身につけることを大切にしています。



7 診療部長から一言

小児外科という診療科は新生児期・小児期の手術で任務終了ではなく、その後の成長にも関わっていきます。そのため外科専門医・小児外科専門医であることはもちろんのこと幅広い専門知識とスキルを必要とします。当科では胃腸科専門医、漢方専門医、静脈経腸栄養認定医、内視鏡外科学会技術認定医などの取得も積極的に奨励しています。

私たちと一緒に子供達の命を守る人、待っています。

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門

<http://www.med.kurume-u.ac.jp/med/pedisurg/>

Tel:0942-31-7631 fax:0942-31-7705

e-mail: pedi_surg@ec2.technowave.ne.jp

担当：深堀 優、石井信二

9 研修プログラムのURL

日本外科学会 <https://www.jssoc.or.jp/>

